

手賀沼流域

協働調査結果(令和元年度)

河川

【大堀川流域】
COD濃度の年平均値が4.5mg/Lを示した。
他流域よりも市街地の割合が大きく、上流の一部及び合流する樋管の地点で高い値を示す傾向がある。No.9より下流の本流では6.0mg/L未満と低い値を示した。

注:大堀川における調査地点No.の枠内に赤塗り白文字になっている地点については、大堀川に合流する直前の樋管等にて観測した値を示す。

手賀沼流域の各河川調査地点で、令和元年度に実施した春季(6~7月)・冬季(11~12月)のパッケージによるCOD濃度調査結果の平均値をまとめました。
※全34地点(No.17は欠番)

【参加団体】

我孫子の文化を守る会、我孫子野鳥を守る会、NPO法人アルパトロソットクラブ、印西市環境推進市民会議、美しい手賀沼を愛する市民の連合会、エコライフあびこ、江戸川大学、大堀川をきれいにする会、大堀川の水辺をきれいにする会、岡発戸・都部の谷津を愛する会、柏市環境保全協議会(リバーテック株)、鎌ヶ谷・大津川を清流にする会、亀成川を愛する会、神崎川を守るしろい八幡溜の会、白井環境ネットワークの会、白井の自然を考える会、七次台中学校、ふれあい手賀沼の会
※五十音順
柏市、我孫子市、印西市、流山市、鎌ヶ谷市、白井市、千葉県(事務局環境生活部水質保全課)



No.11 後原上樋管



No.12 天神前樋管



No.13 西前田樋管



No.14 高田緑地前



No.15 篠塚樋管



No.18 地金堀合流前



No.19 地金堀樋管



No.20 地金堀合流後

染井入落流域

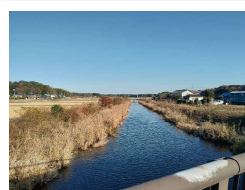


【湖北集水路流域】
COD濃度の年平均値が7.3mg/Lを示した。

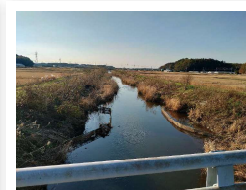


湖北集水路流域

亀成川流域



No.28 水神橋



No.29 花輪橋



No.31 古新田第四橋



No.30 別所青年館



No.33 京発一号橋



No.32 澁

【大津川流域】
COD濃度の年平均値が3.1mg/Lを示した。

【金山落流域】
COD濃度の年平均値が3.7mg/Lを示した。

【亀成川流域】
COD濃度の年平均値が1.8mg/Lを示した。
調査開始以降、他流域よりもCOD濃度の値が低い傾向にある。



No.21 駒木台108-4地先



No.22 美田653-50地先



No.23 美田69-353地先



No.24 駒木189-2地先



No.7 大井二子橋付近



No.1 増尾橋



No.2 大宮橋



No.3 あしかわ橋



No.4 高柳馬渡橋付近



No.5 高柳かにうち橋付近



No.6 栗野串崎新田



No.25 大松



No.26 富塚無名橋



No.27 名内無名橋

CODは、水中の有機物を酸化する際に必要な酸素量で、値が大きいくほど水が汚れていることを示します。CODが高いほど水中の酸素が多く消費されて溶存酸素が減少し、微生物による自然浄化が阻害されたり、生物が生存しにくい環境になります。
CODの汚濁負荷源は、主に生活排水や事業場排水、市街地の路面等です。また、植物プランクトンが沼で増えるとCOD値を高めます。近年の削減対策により、特に生活排水の汚濁負荷は大きく減りましたが、市街地の路面等からの汚濁負荷は減少していません。

凡例

- COD(mg/L)-
 - 0以上~2未満
 - 2以上~4未満
 - 4以上~6未満
 - 6以上~8未満
 - 8以上~10未満
 - 10以上~12未満
 - 12以上
 - 欠測地点
- 手賀沼流域界
- 手賀沼流域水系
- 市町村界
- 下水道整備地域(〜H26.3)
- 水田
- 北千葉導水路
- 北千葉導水路注水地点